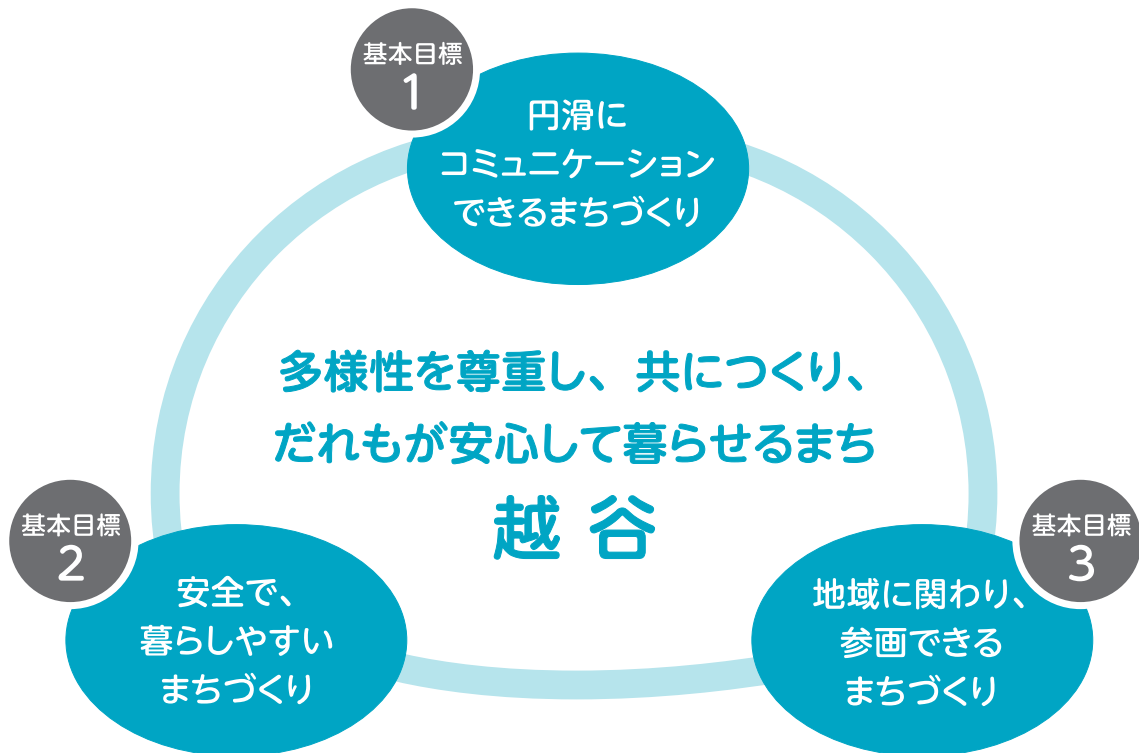


1 基本理念



越谷市は、多様な人々が集まり、互いに支え合いながら発展してきたまちです。

子どもから高齢の方まで、家族の形や働き方、生活の背景が異なる市民が暮らし、それぞれの価値観や生き方を尊重しながら地域をつくってきました。

近年は、外国にルーツをもつ方も増え、ことばや文化のちがいがより身近になっています。こうした多様性は、越谷市の大きな魅力であり、未来を支える力です。一方で、言語や習慣の違いから、理解し合うために時間や工夫が必要となる場面もあります。

本市が多様性を力として発揮し、豊かで活力ある地域として成長していくためには、市民がさまざまな地域活動への参加を通じて交流を深め、多様な背景を知ること、安心してともに暮らしていけることが大切です。

越谷市は、

「多様性を尊重し、共に作り、だれもが安心して暮らせるまち 越谷」

を基本理念に掲げ、すべての市民の多様性を尊重し、誰もが自分らしく生きられる持続可能で安心できるまちの実現を目指し、多文化共生社会を目指します。

2 基本目標

基本理念を中心として、次の3つを基本目標として掲げます。

基本目標1 円滑にコミュニケーションできるまちづくり

市民の多くは、多文化共生には「地域のルールやマナーを市民全体で守ること」が重要と考えています。その実現のために、外国人市民への情報格差を解消し、円滑にコミュニケーションできるまちづくりを目指します。

外国人市民に対して、生活に必要な情報を多言語や「やさしい日本語」、デジタルツールなどを活用して発信していきます。また、外国人相談窓口にて様々な相談に多言語で対応や生活オリエンテーションを実施します。さらに、外国人市民が文化や習慣などのちがいによって孤立することのないよう、日本語学習の機会や、日本文化について学ぶ場を提供します。

基本目標2 安全で、暮らしやすいまちづくり

市民の背景が多様化するに伴い、市が提供する生活支援サービスも、より柔軟で多様な対応が求められています。言語や文化などのちがいによる不便や不安に配慮しながら、地域のルールなど安全に関わる情報を周知し、市民団体等の関係機関とも協力して、すべての市民が安全に暮らすまちづくりを目指します。

ライフステージに応じて、生活支援を保育・教育、防災・防犯、医療・保健・福祉、居住、労働の各分野に分け、それぞれのサービスの充実を図ります。

基本目標3 地域に関わり、参画できるまちづくり

言語や文化などのちがいに関わらず、すべての市民が地域に平等に関わり、主体的に参画できるまちづくりを目指します。

そのために、多文化共生の意識啓発や、国際交流促進に努めるとともに、越谷市市民活動支援センターに設置された多文化交流ひろばをはじめとして、外国人市民が地域社会の一員としてさまざまな活動に参加し、日本人市民とともに活躍できる環境の整備を進めます。



3 基本指標

	基本指標	平成30年度 実績	平成30年度 設定目標 (令和7年度未達成目標)	令和6年度 実績	新目標値 (令和12年度未達成目標)
1	通訳翻訳ボランティアの登録者数	86人	180人	167人 (令和7年8月26日現在)	200人
2	多文化共生事業の参加者数	111人	200人	133人	2,700人
3	多文化共生事業の満足度	未調査	80%以上	91%	90%以上維持

越谷市では、第1次プランで掲げた3つの基本指標の達成に向けて、多文化共生に資する取組を行ってきました。本プランでは改めて目標値を設定し、多文化共生施策全体のさらなる充実を目指します。

通訳翻訳ボランティアの方は、行政資料の翻訳や窓口での通訳に加えて、小学校での多文化共生推進講座をはじめ、多文化共生事業でも活躍しています。また、「通訳翻訳ボランティアの登録者数」に関しては、ホームページでのボランティア募集の他にも、窓口や事業実施の際に紹介を行っており、平成30年度以降、登録数は順調に増加してきました。今後も積極的な呼びかけにより、様々な方に登録いただき、本市の外国籍市民の増加並びに多様化に対応していくためにも、さらなる拡充を図ります。

「多文化共生事業の参加者数」についても、ホームページをはじめ、広報誌やSNS、日本語教室等で開催の呼びかけを行ってきました。平成30年度以降は、コロナ禍の影響により事業が縮小を余儀なくされ、設定目標には届きませんでした。今後はより多くの集客を目指し、引き続き取り組んでまいります。また、これまで実施してきた防災訓練や生活オリエンテーション等の事業に加え、越谷市市民活動支援センターの多文化交流ひろばで市民団体と連携し実施していく、日本語教室や日本語ボランティア養成講座、その他の多文化共生に資する取組についても枠をひろげ、より多くの市民の参加を目指します。

また、「多文化共生事業の満足度」については、アンケートを実施し、参加者からの意見を集めてまいりました。現状の90%を超える高い水準の満足度を維持できるよう、今後も事業の改善を図り、より有意義な事業の実施に努めてまいります。

加えて、市民活動支援課では、令和6年7月より外国人相談窓口を開設し、外国人市民からの様々な相談に対応しています。令和6年度は、162件の相談があり、なかでも行政手続きや日本語教室に関する問合せが多くありました。この相談窓口では引き続き外国人市民からの相談に対応するほか、通訳翻訳ボランティアや多文化共生事業の案内も併せて行い、基本指標の達成に向けて取り組んでいきます。

4 事業の体系

越谷市多文化共生推進プラン施策体系

基本理念

多様性を尊重し、共に作り、
だれもが安心して暮らせるまち 越谷

基本目標

1 円滑にコミュニケーションできるまちづくり

- 施策1 情報の多言語化と相談体制の充実
- 施策2 日本語に関する支援
- 施策3 日本社会の理解に関する支援

2 安全で、暮らしやすいまちづくり

- 施策1 保育・教育
- 施策2 防災・防犯
- 施策3 医療・保健・福祉
- 施策4 居住
- 施策5 労働

3 地域に関わり、参画できるまちづくり

- 施策1 外国人市民の社会参画
- 施策2 多文化共生社会に対する意識啓発
- 施策3 多様性を活力とする人材育成
- 施策4 キーパーソン・ネットワークの構築
- 施策5 地域における国際交流
- 施策6 外国との国際交流

